



# 「散乱する空き缶」追放へ

## 市環境衛生協会がクリーン作戦を展開



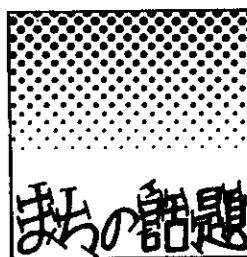
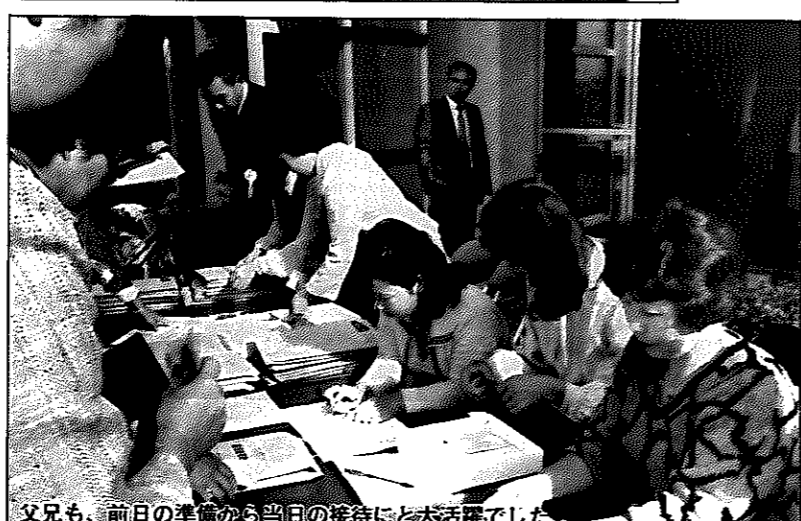
「けっこうあるもんだね。ほらここにも」と、道路沿いに投げ捨てられた空き缶拾いにかけ回る人たち。市環境衛生協会では十月十七日、自分たちの住んでいる地域を自分たちの手できれいにしようと、環境美化を兼ねた「散乱空き缶クリーン作戦」を展開しました。この日集まった協会員二十五人は、手に手にビニール袋を持ち、国道や県道沿いを中心に作業を開始。車で走っていると、そんなに目につきませんが、道路脇の草ムラに一歩足を踏み入ると、空き缶がゴロゴロころがっていました。わずか一時間ちよつとで約三千個の空き缶が集まりました。空き缶と一緒に空きびんもけっこう投げ

# 育てる目 育つ芽



## 200人の先生方が勉強

10月12日、2年間の成果が発表されました。当日は県内各地から200人以上の先生方が参加し、研究成果を熱心に勉強していました。県小学校教育研究会の遠藤慶作理事が「道徳の研究は引き受け手がない」とあいさつで述べたように、教育現場では難しい教科とされているようです。でも、がんばってください。文部省が実施した世論調査でも道徳教育に期待する声は高まってきています。



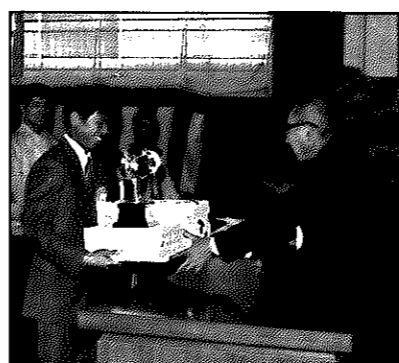
## にぎわった「市農業祭り」

十月二日、白根小学校を会場に「第五回白根市農業祭り」が開かれました。

この祭りは、生産者と消費者の交流を図る中で、農産物のPRと農業者の生産意欲を高めようというもの。

この日は、市農業賞などの表彰や青空農業市、アトラクションなど多彩な催しが行われ、千二百人の生産者・消費者が集まった会場は、熱気に包まれました。

表彰者は次のとおり(敬称略)「農業関係功労者」▽田中 清



- (松橋) 風間嘉津治(能登)
- 近藤宗一郎(中山)
- 【市農業賞】▽個人経営の部  
水稲十果樹経営▽田中 肇(庄瀬)  
本間正克(十五間) 水稲十養豚経営▽小林嘉之(浦梨)
- ▽生活改善の部▽七日会(戸頭)
- 【永年勤続農家組合長】▽竹山 与一(新村)
- 最優秀賞のみ——
- 【果樹立毛品評会】▽ぶどうの部▽武石光喜、岡田秀一、山崎正雄(上新田)
- ▽梨の部▽五幣正樹、竹内 進、渡辺英雄(下赤波)
- 【そ菜立毛品評会】▽ハウスの部▽横山与志雄、長沢信栄(西笠巻新田) ▽トシネル露地の部 ▽トマト▽後藤 正(下鷲ノ木) きゅうり▽田辺 栄作(上笠巻) ▽食用菊の部 ▽五十嵐孝市(堀掛) 【チューリップ品評会】 遠藤慎一(菱湯)